



新しく生まれ変わった伊勢町二丁目舞台



修理中の舞台 (山田工務店内)

いずれにしましても町の宝ですので、先人から受け継いだ尊い文化遺産を次の世代に引き継ぐ責務を果たしていきたいと思っております。

この伊勢町二丁目の舞台の特徴は、彫刻と金具の多い典型的な松本深志舞台といえるでしょう。

「伊勢町」二丁目 舞台の由来と特徴

松本市重要有形民俗文化財 松本城下町の舞台 シリーズ①



令和6年3月1日現在
世帯数 : 857世帯
人口 : 1513人
男 : 716人
女 : 797人

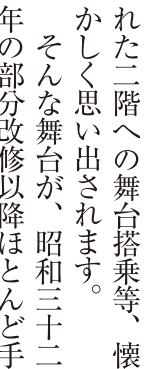
伊勢町二丁目の舞台は、明治二十五年飛騨高山から購入し、明治三十五年頃漆塗り、彫刻を加えて、明治末期に完成された」と記されており、特徴としては、仙人図など当時伊勢町に住まいした原田蒼溪師による木彫刻が、多

改めでの思い出として、毎年の夏風物詩である天神祭が近づく十日ほど前になると、山辺地区より笛氏を招いて各戸を回つての雛子の稽古、終わりの心待ちしたお駄賃、又男の子優先と高学年のみ許さ

れた二階への舞台搭乗等、懐かしく思い出されます。そんな舞台が、昭和三十三年の部分改修以降ほとんど手を加えておらず、とみに老朽化激しく思案していたところ、平成二十年に舞台保存会解体修復事業に着手し、町会関係の方々よりの心温まる浄財や関係団体各位のご協力により、平成二十一年無事修復竣工となりました。

修復が完成し改めて見たときは、きれいになった漆塗り、輝くばかりの金箔や金具、これが我が町の舞台なのかと感動したものでした。

松本城 400 年祭



高円宮妃殿下と共に

Presented by 視聴覚委員会

第一地区 ふれあいまつり



中高生ビッグバンド「Music Toys」の皆さんによる演奏

両角さん (博労町) による三線の演奏



第一地区の町内公民館活動

～町内のつながりは心のつながり～



伊勢町3丁目 親睦旅行 (6/18)

町会の皆さんで大町温泉郷を訪れました。忙しい日常から離れて温泉と昼食を楽しみ、参加者同士で親睦を深めました。

本町5丁目 マレットゴルフ大会 (6/18)

梓川ふるさと公園にてマレットゴルフを楽しみ、その後は町内の飲食店で表彰式を行い、親睦を深めました。



本町5丁目 日帰りバス旅行 (10/15)

15名の方に参加いただき、紅葉の志賀高原で温泉に浸かり、美味しいものを食べて、町内の皆さんで一日をゆっくり楽しむことができました。



電車通り

公民館報の編集に携わるようになってもう何年にもなるが、手ごたえを感じないというか、良くも悪くも全く反響がない。読むに値する記事がないと言われるればそれまでだが、活字離れなのか紙媒体自体の影響力の低下が近年進む一方だ。県内に限らず大手の全国紙にあっても夕刊の発行を休止する地域が増え、大都市圏以外では夕刊を目にすることもなくなった。携帯電話が普及するまでは、通勤電車で大抵のサラリーマンが新聞を広げていたものだが、今ではそんな光景にお目にかかることもないし、コンビニや駅の売店で買いたい新聞が売っていないことも珍しくなくなった。永年続いた雑誌の廃刊の話も聞くし、資源物回収日に新聞・雑誌の束も減ったということは、購入・購読する家庭が減っているということだろう。近年広報まつもとも公民館報や地区だよりもオンラインでも読めるようにはなったものの、情報へのアクセスしやすさと読者の増加とはまた別の話。はたして市のホームページから公民館報にたどり着けるかお試しいただくのも情報リテラシーの向上への一助となるか。